

第186回 防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和6年2月14日（水）10時00分～12時15分

2 場所

防衛省庁舎D棟3階第1庁議室

3 出席者

（委員）

田内会長 柴山会長代理 石田委員 片岡委員 清水委員 西谷委員 林委員

（防衛省）

防衛装備庁 西脇長官官房審議官、坂本装備政策部長、森調達管理部長、久澤調達事業部長、渡野監察監査・評価官（事務局）

柳統幕首席後方補給官、陸幕装備計画部長代理装備計画部装備計画課補給管理班長、伊藤海幕装備計画部長、小島空幕装備計画部長

4 議題

- （1）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和4年度 防衛装備庁（第2回））
- （2）サンプリング調査審議の後日回答について
- （3）令和5年度に新設された制度について
- （4）入札状況報告（令和4年度 第3・第4/四半期）
- （5）令和6年度防衛調達審議会開催計画について
- （6）次回の日程等

5 議事概要

- （1）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和4年度 防衛装備庁第2回）
- 【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】
- ① 高圧受変電設備設置作業
- 【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】
- ② 防衛装備品製造過程等におけるサイバーセキュリティ対策強化事業

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札） 案件 1 件】

③ 防衛産業サイバーセキュリティ基準への対応に係る支援役務

【事前調査における論点等】

① 高圧受変電設備設置作業

- ・ 事前に調達計画や調達予定を周知することが可能であるか説明されたい。
- ・ 情報セキュリティ対策が必要となる契約であるが、チェック体制の内容について説明されたい。
- ・ 公告時期、公告日数、履行期間の理由、妥当性、改善点及び今後の改善策について説明されたい。

② 防衛装備品製造過程等におけるサイバーセキュリティ対策強化事業

- ・ 仕様条件が協会 1 者しか応募できない条件となっていないか説明されたい。
- ・ 審議番号③と同じ契約内容に見えるが、両案件の違い及びその関係性について説明されたい。
- ・ 仕様書に記載されている「事業者選定」の項目には 35 社を想定という記載があり、企業数が確定されていない。このような条件において予定価格を算定することは難しいと考えるが、協会の設備更新のための資金になっていないか説明されたい。
- ・ 外注比率について説明されたい。
- ・ 協会の事業における防衛省関連事業の占める割合について説明されたい。
- ・ 予算の制約で受注者が限られたとのことであるが、事業の重要性から必要な予算を確保し、適正価格で発注すべきと考えるが、それに対する官の考えについて説明されたい。
- ・ 契約成果である企画書の評価はどのようであったか説明されたい。

③ 防衛産業サイバーセキュリティ基準への対応に係る支援役務

- ・ 低価格落札の中でも数値的に低すぎると考えるが、当該入札調査の内容及び過程と結果の合理性について説明されたい。
- ・ 仕様の要求水準に見合ったパフォーマンスを得られたかについて説明されたい。
- ・ 契約履行に問題なしという入札調査結果であるが、外観的な公正性を担保しきれないとする。このような低価格落札を防止することができない理由及び今後の入札において公正性を担保するための対応策について説明されたい。
- ・ 低価格落札をしたデロイトのメリットについて官側の分析結果を説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

① 高圧受変電設備設置作業

委：今後、類似契約があった場合、公告期間をどのくらい確保する必要があると考えているのか。

防：予決令において公告期間は10日以上となっているが、運用上はなるべく30日程度を目指している。調達要求内容を適切に決定し、要求時期を早めるなどして今後でもできる限り長く公告期間を確保していきたい。

② 防衛装備品製造過程等におけるサイバーセキュリティ対策強化事業

委：契約相手方は、中小企業のサイバーセキュリティに係る業務を得意としているとのことだが、実際、中小企業と契約をしているのか。

防：そのとおりである。

③ 防衛産業サイバーセキュリティ基準への対応に係る支援役務

委：低価格入札の調査について記載があるが、調査されたのか。

防：過去の履行状況や、入札価格の考え方などを調査したものである。

委：会計法令に基づくものではあるが、入札を取り仕切った官として適切な入札価格であったと考えているのか。

防：契約相手方は、役務に必要な知見を豊富に有しており、その知見を活用することで、契約の履行が可能であると考えている。

(2) サンプル調査審議の後日回答について

【NOSE LANDING GEAR ASSY等 組立作業】(第185回 海上自衛隊航空補給処)

後日回答事項

・分解検査と組立作業と分かれているのを今後は一括契約にすることを検討しているとのことだが、比較検討内容について具体的かつ詳細に説明されたい。

(資料に基づき防衛省側から説明)

委：一括契約にした場合の在庫管理の分析内容について、予防保全の観点から見れば、一括契約にした方が分解検査と組立作業を分けて契約するよりダウンタイムの削減が期待され、運用に支障がきたしにくい最適な在庫管理ができると考えるがどうか。

防：ご指摘のとおり、今後一括契約の実績を積み、詳細なデータを収集することで最適な

在庫管理ができると考える。

(3) 令和5年度に新設された制度について

令和5年度に新設された制度について、防衛装備庁装備政策課及び原価管理官から説明を行った。

(4) 入札状況報告（令和4年度 第3・第4/四半期）

各機関等が行う入札について、防衛省大臣官房監査課より報告した。

(5) 令和6年度防衛調達審議会開催計画について

令和6年度防衛調達審議会開催計画について、了承された。

(6) 次回の日程等

次回は5月22日（水）の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。